



Team石川



小中一貫CSだより第6号

平成29年5月2日発行 石川小・中学校 文責（松）

今年度も小中一貫教育やコミュニティ・スクール構築に向けた取組などについて紹介したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

1 小・中のPTA総会で取組を紹介・・・使用したスライドを抜粋して紹介します。

「教育自立圏」調査・研究事業とは

- コミュニティ・スクールを構築するための調査・研究
- 小中一貫教育に関する調査・研究

平成30年度から実施

コミュニティ・スクールとは

- 学校運営協議会が設置されている学校（設置については教育委員会が定める）
- 学校運営に当たって保護者と地域の皆さんが参画するしくみが保証されている学校（地域のシンボル）
- 学校・保護者・地域が連携・協働して地域の宝である子どもを育てるしくみ ●学校の教育活動を応援

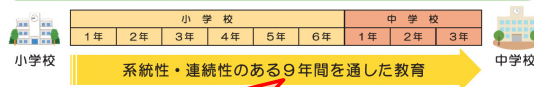
学校運営協議会について

- 1 学校運営協議会委員
〔例〕PTA会長、町会代表、公民館長、元学校評議員（委員の任期、人数等は教育委員会が定める）
- 2 学校運営協議会の役割
 - ・学校が作成する学校運営の基本方針の承認
 - ・学校運営について意見を述べる
 - ・教職員の任用について意見を述べることができる
 - ・協議（熟議）・・・登下校の安全、いじめ防止、防災対策、学校支援・・・意見だけでなく学校と協働する（学校評議員制度との違い）

弘前市教育委員会が現時点で考えている小中一貫教育

小中一貫教育とは？

目指す子ども像（15歳の姿）を小学校・中学校で共有し、9年間を通じた教育を行います。



- ◆一貫しためざす児童生徒像（15歳の姿）の設定
- ◆9年間を貫く小中一貫教科等（「ひろさき卅学」）の導入
- ◆授業スタイルの共有
- ◆合同の行事、連携した教育活動の推進・充実

今後、実現が望まれること

- ・施設の一体化
 - ・小中の教員が通年で、相互に乗り入れて授業を行うことやその他の教育活動を行うこと
- ➡兼務発令が必要

施設の一体化に関しては、石川小・中学校が市内で最も古い校舎なので、新築の一番手に挙がっています。教育委員会の方からは、実現するためには保護者・住民の盛り上がりが必要だとおっしゃっていました。

平成30年度から、石川小・中学校は東目屋中学校区、裾野中学校区、第三中学校区とともに弘前市教育委員会からコミュニティ・スクールに指定される予定です。また、小中一貫教育は全市小中学校ではじまります。その小中一貫教育の（現時点での）核となる取組が9年間を貫く小中一貫教科等である「ひろさき卅学」という郷土学習です。この学習は故郷愛を育むために実施するものです。「15歳の姿」は設定済みなので、今年度は「ひろさき卅学」に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

また、学校運営連絡協議会（平成30年度から「学校運営協議会」）は新メンバーで実施していきます。（裏面参照）、学校運営協議会の進め方について、今年度の学校運営連絡協議会で試行し、来年度に向けて準備をすすめて行きたいと思っています。

2 平成29年度学校運営連絡協議会メンバーと会議日程

(1) メンバー

小田桐 久 氏	石川地区町会連合会長	齋藤 輝雄 氏	弘前市立石川公民館長
成田 元春 氏	石川地区町会連合副会長	桑田 昭子 氏	青少年健全育成推進委員
鈴木 登 氏	保護司、そろばん教室代表	白取 義人 氏	青少年健全育成推進委員
小野 めい子 氏	石川こども園園長	廣田 伸之 氏	青少年育成委員
成田 真弓 氏	大沢保育園園長	齋藤 伸造 氏	石川公民館副運営委員長
工藤 信康 氏	石川小学校PTA会長	小田桐 尚輝 氏	石川中学校PTA会長
相馬 伸光 氏	石川小学校校長	松山 正男 氏	石川中学校校長
猪股 健 氏	石川小学校教頭	東海 孝尚 氏	石川中学校教頭
石郷岡 修一 氏	石川小学校教務主任	外崎 聡 氏	石川中学校教務主任

(2) 会議日程と案件予定

	月日(午後実施)	場 所	案 件 等 の 予 定
1	5月26日(金)	石川中学校	中学校参観、本事業について、運営方針等の説明など
2	9月 7日(木)	石川中学校	中学校参観、小・中学校の課題について
3	12月12日(火)	石川小学校	小学校参観、小・中学校の課題について
4	2月23日(金)	石川小学校	小学校参観、学校関係者評価、次年度基本方針

※「学校運営連絡協議会の進め方について」(弘前市教育委員会)によると会議は公開することとなっています。(「小中一貫CSだより5号」に掲載)もし、傍聴希望がありましたら、まず、小・中学校にご連絡願います。

3 「ひろさき卅学」の実施①

4月22日は石川中学校の創立記念日です。昨年度の4月22日は、全校生徒に対して「石川中学校70年の歩み」をスライドを使って紹介する授業を行いました。

今年度は、70周年という記念の年に入学した1年生に対して、総合的な学習の時間に、地域や母校に誇りを持たせる目的で「ひろさき卅学」の一環として実施しました。

(4月25日)

生徒の振り返り・感想より

- ・甲子園で活躍した工業高校に5人も石川中卒業のレギュラーがいてすごいと思いました。剣道部も全国大会に出てすごい。
- ・火事や台風などの災害を乗り越えた石川中学校はすごいと思いました。りんご台風の時に小学校に手伝いに行って優しいと思った。
- ・石川中学校の100周年を迎えたいと思いました。

ひろさき卅学
シート

石川中学校の歩みを学んで印象に残ったことを書いてみましょう

氏名

学号

記入欄

- ・札幌の石山中学校と交流があり、校舎に贈り物が飾ってあるのに驚きました。
- ・生徒数が最多の時は786人もいることに驚きました。
- ・火事の後、講堂で一斉に授業を受けていて大変だなと思いました。
- ・大人になっても母校のある石川に住みたいと思いました。

このようなシートを作り振り返りを行いました。



小学校100周年、中学校30周年の時の航空写真なども取り上げました。